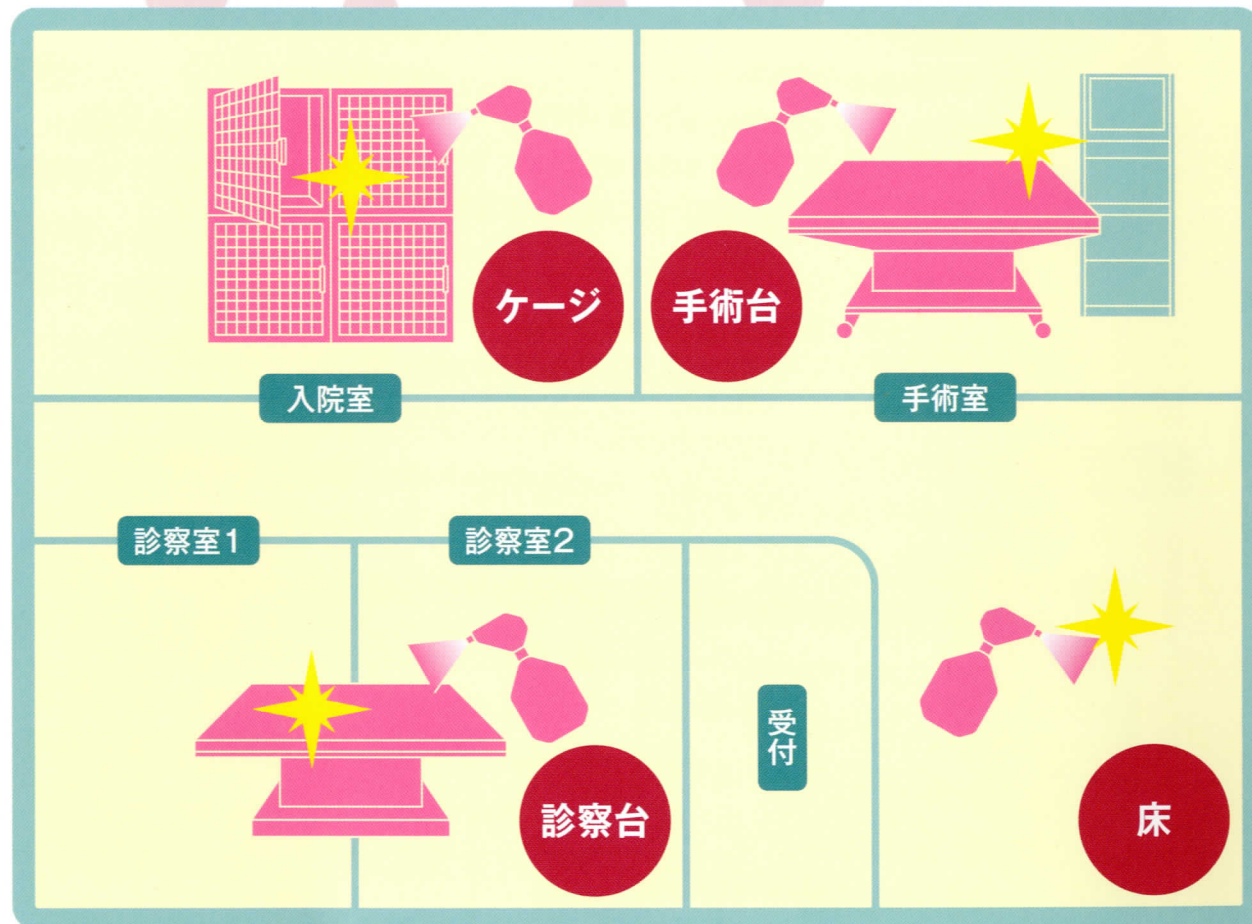


院内の消毒

※診療施設内の消毒:100倍希釈液を診察台,手術台,床,ケージに適量を散布する。



感染症対策を、 しっかり強化。



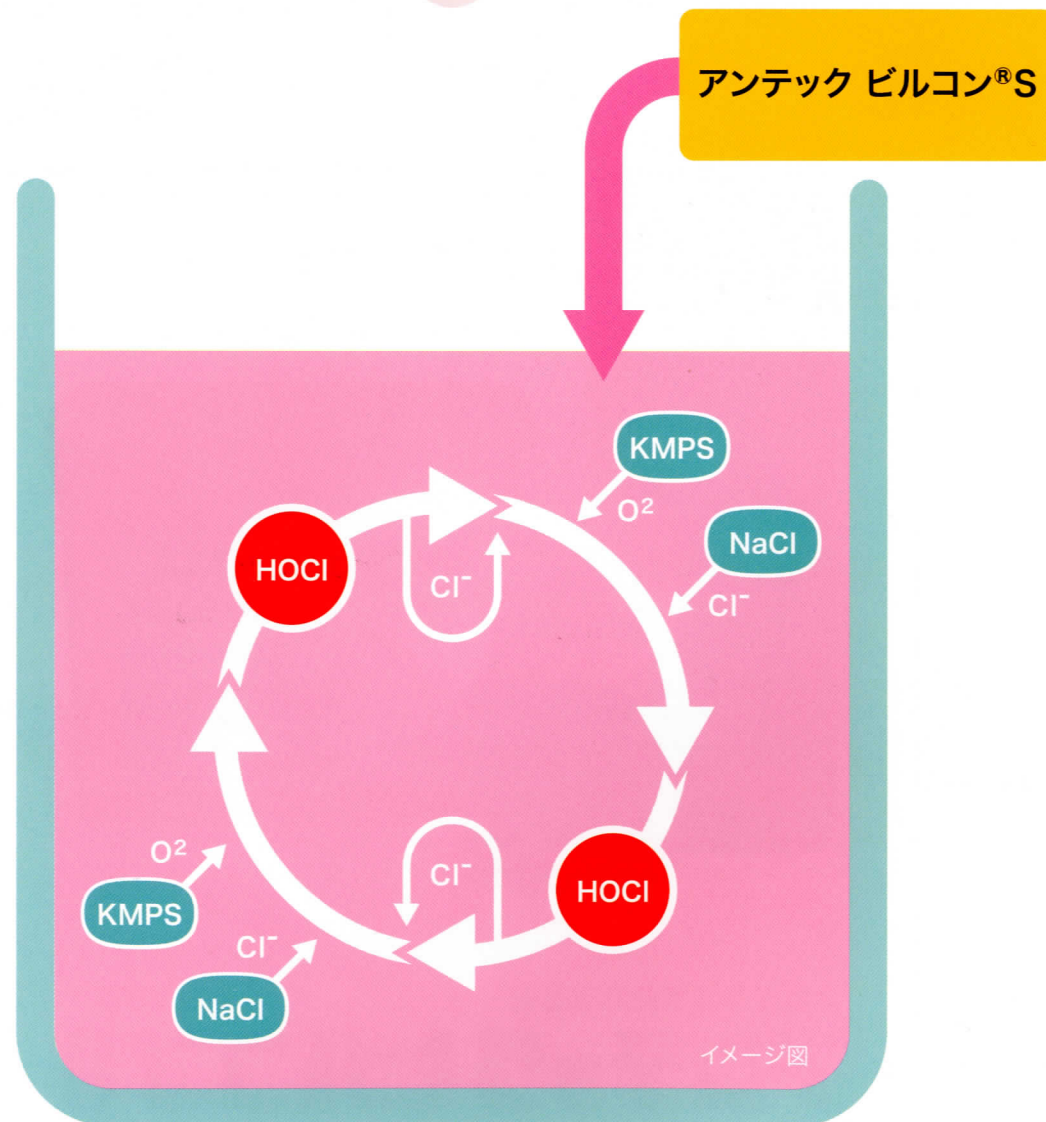
複合次亜塩素酸系消毒薬

動物用医薬品

アンテックビルコンS®

特異的な連鎖化学反応

アンテック ビルコン[®]Sは、
 水に溶解すると特異的な連鎖化学反応により次亜塩素酸 (HOCl) を発生させ、
 その次亜塩素酸の酸化力により微生物を殺滅します。



- 主成分であるペルオキソー硫酸水素カリウム (KMPS) は、水及び塩化ナトリウム (NaCl) と反応し次亜塩素酸 (HOCl) を生成。
- 塩素イオン (Cl⁻) は、配合されている有機酸との反応により塩素ガス (Cl₂) として環境中に放出されにくく、この連鎖化学反応に取り込まれ次の次亜塩素酸を生成。
- KMPSが完全に消費されると反応が停止。

効力確認試験 (in vitro)

供試細菌

Staphylococcus intermedius 犬由来野外分離株
Streptococcus canis 犬由来野外分離株
Escherichia coli 犬由来野外分離株
Pseudomonas aeruginosa 犬由来野外分離株

評価方法

- 供試細菌を培養し、菌数を一定量に調整して混合。
- アンテック ビルコンSを水道水で100倍、200倍、300倍及び400倍に調整。
- アンテック ビルコンS各希釈液と菌液を、室温にて10秒、30秒、60秒及び90秒感作。
- 各感作時間ごとに普通ブイヨン培地に移植し、菌の発育の有無を観察。

結果

アンテック ビルコンS100倍希釈液では、
 感作後10秒で3反復とも菌の発育は認められなかった。

接種菌量 (CFU/mL)	希釈倍率	感作時間 (秒)			
		10	30	60	90
1.0 × 10 ⁸	100	-	-	-	-
	200	+	-	-	-
	300	+	-	-	-
	400	+	-	-	-
1.1 × 10 ⁸	100	-	-	-	-
	200	+	-	-	-
	300	+	-	-	-
	400	+	-	-	-
2.1 × 10 ⁸	100	-	-	-	-
	200	+	-	-	-
	300	+	+	-	-
	400	+	+	-	-

+: 菌の発育を認める - : 菌の発育を認めない

臨床試験

試験実施場所：小動物診療病院

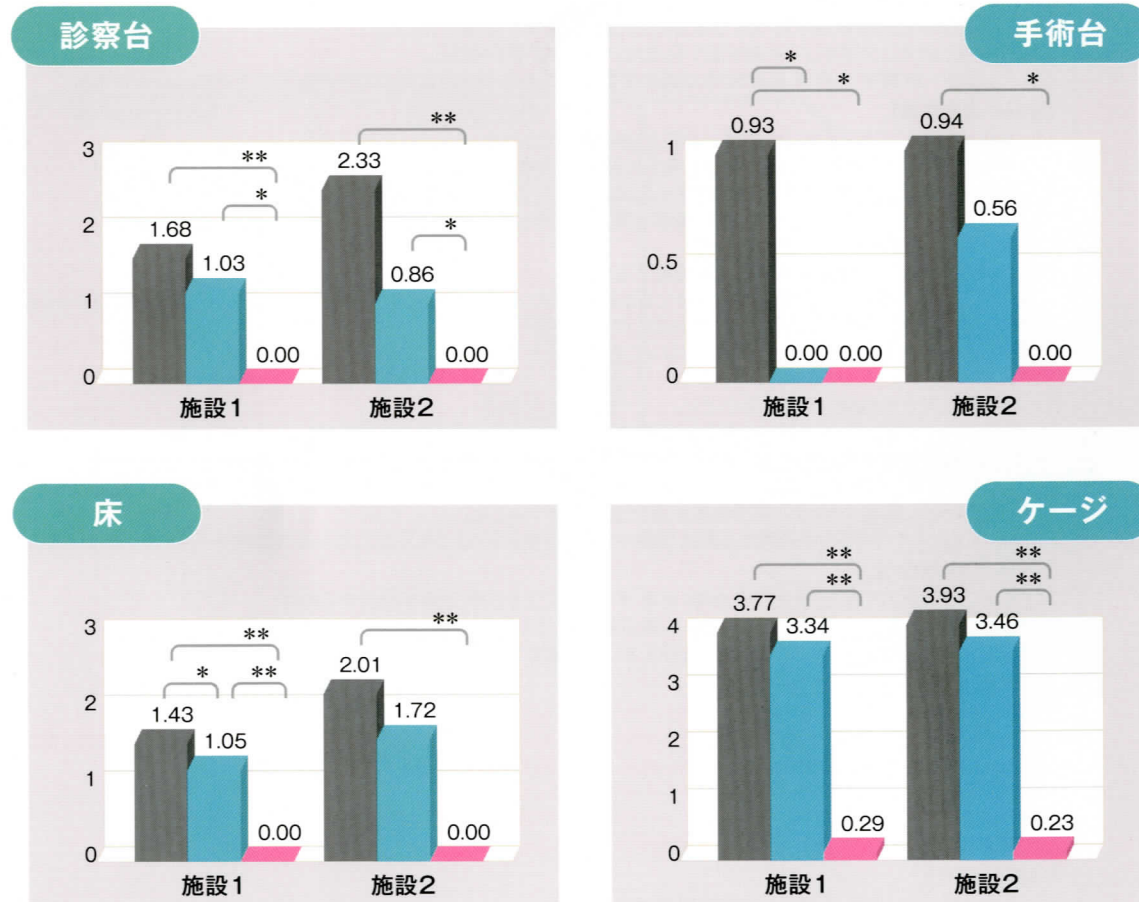
消毒対象物：診察台、手術台、床、ケージ

試験区の設定：各消毒対象物を、無散布対照区2区、アンテック ビルコンS散布区1区および水道水散布区1区の計4区に振り分けた。

消毒方法：ケージは水で清拭した後、その他(診察台、手術台、床)は直接、アンテック ビルコンS100倍希釈液を30cm上方からハンドスプレーを用い散布し、1分間感作させた。水道水散布区も同様に散布を行った。

菌数測定：各区表面をフードスタンプを用いてランダムに採材し、24時間培養した後、発育全コロニーを計数した。

■ 無散布対照区 ■ 水道水散布区 ■ アンテックビルコンS散布区



総菌数: log CFU/100cm²
 **: p<0.01, *: p<0.05

感染症対策を、
 しっかり強化。



複合次亜塩素酸系消毒薬

動物用医薬品

アンテックビルコンS®